

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6
居住環境づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

土木部

都市計画課長

西村成人

電話番号

0852-22-5209

事務事業の名称	都市公園整備事業	
目的	(1) 対象	都市公園利用者
	(2) 意図	県民のスポーツ・余暇活動拠点、都市防災拠点、地域振興拠点等となるよう公園整備を進め、県民の健康増進や憩いの場、交流の場を提供する。
事業概要	安全で快適な緑豊かな都市環境の形成を推進し、豊かな県民生活の実現を図るため、都市公園法（昭和31年法律第79号）第2条第1項第1号に規定する都市公園の整備等を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 公園利用者数	目標値		139.0	139.0	139.0	139.0	万人
		取組目標値						
	式・定義 公園利用者数	実績値	145.4	139.2				
		達成率	-	100.2	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	231,967	313,321
うち一般財源 (千円)	9,220	12,656

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成28年度の県立都市公園の利用者数は139.2万人であり、各公園とも天候不順やこれに伴うイベント中止等により、平成27年度と比べ4.3%（6.2万人）の利用者減となったが、目標は達成することができた。
・施設が老朽化し、利用者からの苦情や要望が多い。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・浜山公園においては、第1種公認陸上競技場の更新検定のための改修、給水ポンプ改修等を実施した。
・右見海浜公園においては、はっしータワー改修、ケビン村法面対策等を実施した。
・万葉公園においては、園路補修、遊具更新等を実施した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・老朽化が進行している公園施設（遊具等）に関する苦情・要望に対して十分に対応できていない。
・浜山公園の運動施設については、規則改正に適合していない箇所への強い改善要望がある。

②困っている状況が発生している「原因」

・他管理者施設との比較により、利用者のニーズが高まってきている。

③原因を解消するための「課題」

・施設改修に要する予算が十分ではない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・公園施設長寿命化計画に基づきメリハリのある維持管理を行う。
・バリアフリー化されていない公園施設のバリアフリー化対策も計画的に実施し、快適な施設の提供に努める。
・運動施設については体育協会など関係団体や利用者の意見を聞いて、改善策を検討する。